



公開シンポジウム 「子どもの貧困と「食」格差：政策は何ができるか」

「貧困学を立ち上げる」公開シンポジウムシリーズ第1段！！

日時

2016年

12月14日 水 13:30-16:35 (開場:13:15)

日比谷コンベンションホール 大ホール (日比谷図書文化館 B1F)
東京都千代田区日比谷公園1-4

第1部

基調講演

村山 伸子(新潟県立大学)
日名子まき(厚生労働省雇用児童局・児童家庭局)
可知 悠子(日本医科大学)
鷹 咲子(跡見学園女子大学マネジメント学部准教授)

第2部

パネルディスカッション

「子どもの「食」格差について、政策は何ができるか」

ディスカッサント:

村山 伸子(新潟県立大学)
日名子まき(厚生労働省雇用均等・児童家庭局)
可知 悠子(日本医科大学)
八田 和嗣(文部科学省初等中等教育局)
鷹咲子(跡見学園女子大学マネジメント学部准教授)

コーディネーター:

阿部 彩(首都大学東京)

お問い合わせ: 阿部彩研究室(首都大学東京都市教養学部 人文・社会系社会学コース)
TEL: 042-677-2126 E-mail: abeken@tmu.ac.jp

詳細ホームページ: <http://www.tmu-beyond.tokyo/child-and-adolescent-poverty/>

第1部

13:30～13:35 開会 挨拶
13:35～15:15 基調講演

1. 「子どもの栄養格差:4自治体調査から」
村山伸子 (新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科 教授)
2. 「乳幼児栄養調査:社会経済的要因からの分析」
日名子まき (厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 栄養専門官)
3. 「子どもの体格と社会経済要因」
可知 悠子 (日本医科大学衛生学公衆衛生学 助教)
4. 「学校給食と子どもの貧困」
鷹 咲子 (跡見学園女子大学マネジメント学部 准教授)

休憩

15:15～15:25 休憩

第2部

15:25～16:15 パネルディスカッション「子どもの「食」格差について、政策は何ができるか」

- ディスカッサント: 村山 伸子 (新潟県立大学人間生活学部栄養学科 教授)
日名子 まき (厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 栄養専門官)
可知 悠子 (日本医科大学衛生学公衆衛生学 助教)
八田 和嗣 (文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 企画官)
鷹 咲子 (跡見学園女子大学マネジメント学部 准教授)
- コーディネーター: 阿部 彩 (首都大学東京都市教養学部人文・社会系 教授)

Q&A
セッション

16:15～16:30 Q&Aセッション
16:30～16:35 閉会 挨拶

プ ロ フ ィ ー ル



村山伸子(むらやま のぶこ)

新潟県立大学 人間生活学部健康栄養学科 学科長・教授。
東京大学大学院医学系研究科博士課程修了、博士(保健学)。
女子栄養大学助手、東北大学大学院専任講師、コーネル大学客員研究員、新潟医療福祉大学教授等を経て現職。専門は、公衆栄養学、国際栄養学。



日名子まき(ひなご まき)

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 栄養専門官。管理栄養士。
平成23年4月に厚生労働省入省(健康局総務課生活習慣病対策室)。入省後は、国民健康・栄養調査や食事摂取基準の改定、管理栄養士国家試験や栄養士法、調理師法に係る業務などを担当。平成27年4月より現職。



可知悠子(かち ゆうこ)

日本医科大学 衛生学公衆衛生学 助教。
2010年3月東京大学大学院医学系研究科博士課程終了(医学博士)。在学中に国立保健医療科学院、国立精神・神経医療研究センターにて疫学研究に従事。
2012年12月から日本医科大学衛生学公衆衛生学助教。専門分野は社会疫学。
主な研究テーマは子どもの健康格差、非正規雇用の健康影響。



八田和嗣(はった かずし)

文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課 企画官。
平成25年 初等中等教育局 参事官付 学力調査企画官。
平成26年 スポーツ・青少年局 スポーツ・青少年企画課 スポーツ政策企画室長。
平成27年 スポーツ庁 政策課 学校体育室長。
平成28年 初等中等教育局 健康教育・食育課 企画官。



鷹 咲子(たか さきこ)

跡見学園女子大学マネジメント学部准 教授(行政学)。
上智大学法学部国際関係法学科卒業。筑波大学大学院経営・政策科学研究科修了。博士(法学)。参議院事務局調査員を経て2012年より現職。子どもの貧困に関する調査研究を行う。主な著書に『給食費未納 子どもの貧困と食生活格差』光文社新書、『子どもの貧困と教育機会の不平等 就学援助・学校給食・母子家庭をめぐる』明石書店がある。



阿部 彩(あべ あや)

首都大学東京都市教養学部 人文・社会系 教授、子ども・若者貧困研究センター長。
マサチューセッツ工科大学卒。タフツ大学フレッチャー外交法律大学院修士・博士号取得。国際連合、海外経済協力基金を経て、1999年より国立社会保障・人口問題研究所に勤務。2010年より社会保障応用分析研究部長。2015年4月より現職。
専門は、貧困、社会的排除、社会保障、生活保護。著書に、『子どもの貧困-日本の不公平を考える』(岩波書店、2008年)他多数。

